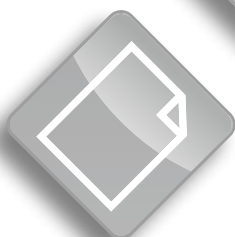
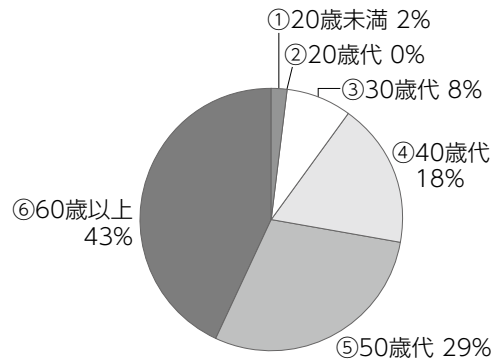


# 福岡会場アンケート 集計結果



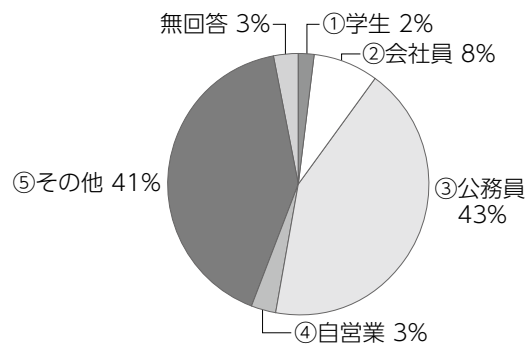
### 1 年齢構成

① 20歳未満	1人
② 20歳代	0人
③ 30歳代	5人
④ 40歳代	11人
⑤ 50歳代	18人
⑥ 60歳以上	26人



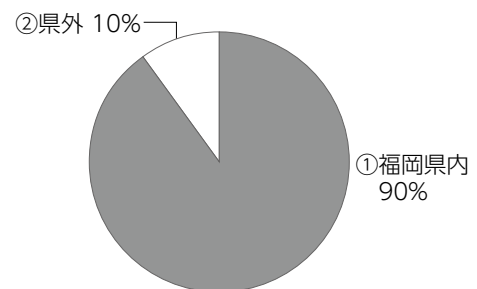
### 2 職業構成

① 学生	1人
② 会社員	5人
③ 公務員	26人
④ 自営業	2人
⑤ その他	25人
無回答	2人



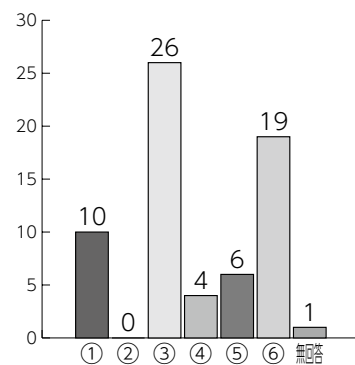
### 3 住まい

① 福岡県内	55人
② 県外	6人



### 4 本シンポジウムを知ったきっかけ (複数回答)

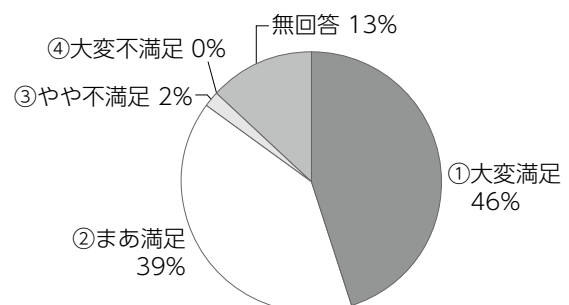
① 新聞広告	10人
② テレビ	0人
③ チラシ	26人
④ インターネット	4人
⑤ 知人・家族	6人
⑥ その他	19人
無回答	1人



### 5 本シンポジウムについて

#### (1) 全体満足度

① 大変満足	28人
② まあ満足	24人
③ やや不満足	1人
④ 大変不満足	0人
無回答	8人



(2) 自由記入欄より

パネリストの皆様のお話は、どれも人としてだけでなく、行政の立場からも考えさせられるものでした。短い時間でしたが、すばらしかったです。

『槌音』について「生活の音が消えてしまった」。大変印象に残りました。

震災についてかなり知っているつもりでしたが、今回、生の声を聞いて驚くことばかりでした。

北原先生のこれからの自然と社会にどう向き合って住み続けていくのか、それは命と未来につなげる「ともいき（共生）」であるという言葉に大変感動を憶えました。また、森松先生の日常、苦勞されている人とともに北九州のすばらしい取り組みには感心しました。

浅見氏の震災当日、食事の確保のために奔走されたことと、対応されたパン屋さんの対応に心打たれました。

砂子氏のこまやかな気遣いはきわだっていて、そのことで生活に密着した“物”の支援が実現しており、本当に継続した支援が必要だと感じた。

北原氏の地域の智恵（過去から積み重ねられたもの）は全国各地にあるはず、都市計画に活かすことことの重要さを感じた。

森松氏のボランティア、パーソナルサポーター（人が人を支える）面になれば新たなコミュニティ安心の生活確保、これはよいです。

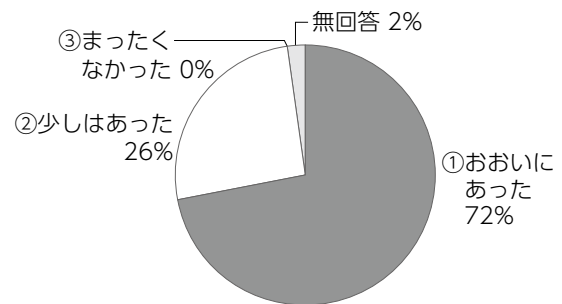
北原先生のお話は深く考えさせられました。砂子様のお話は身近に感じられ、何か出来るのではと気持ちが動ききました。北九州の取り組みも官民の力の思いも素晴らしいです。このような情報をもっと幅広く流してほしい。

各パネリストの意見をパワーポイントで話してくれたので、わかりやすかった。特に市民センター館長の行政に頼らないで避難民を守った話に感動した。北原先生より、仮設住宅は2年間しか住めないという法律の不備の指摘も理解できた。大久保監督の映画も状況がよくつかめました。

※主な回答を抜粋

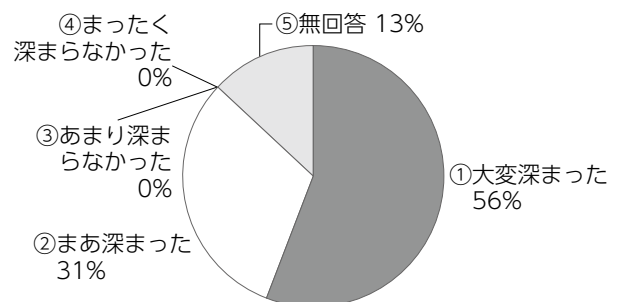
**6 本シンポジウム参加以前に、人権問題についてどのくらい関心や理解があったか**

① おおいにあった	44 人
② 少しはあった	16 人
③ まったくなかった	0 人
無回答	1 人



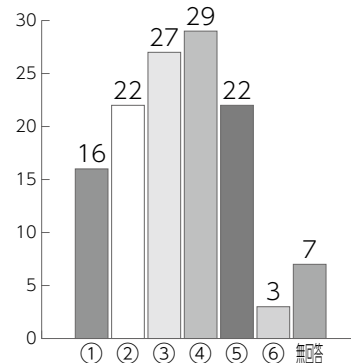
**7 本シンポジウムに参加して、人権問題についての関心や理解は深まったか**

① 大変深まった	34 人
② まあ深まった	19 人
③ あまり深まらなかった	0 人
④ まったく深まらなかった	0 人
無回答	8 人



### 8 本シンポジウムに参加して、何か行動しようと思ったか（複数回答）

① 被災地支援を行いたい	16人
② 人権問題に関心を持ち、偏見を持ったり、差別をしないようにしたい	22人
③ 人権問題について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会を持ちたい	27人
④ 今回のイベントの内容を、友達や家族に説明し、話したい	29人
⑤ ほかの人権問題に関するイベントにも、機会があれば参加したい	22人
⑥ その他	3人
無回答	7人

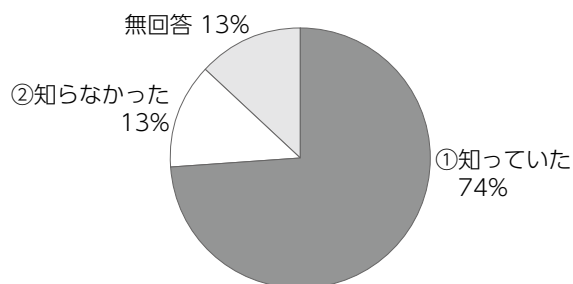


#### ⑥その他の内容

50歳代 ・実家が宮城県で兄妹が被災地。もっと国が真剣に取り組んでほしい、対応が遅く、はがゆかった。1か月後、車で積めるだけ積んで物資、お金を用意して行ったが、友達関係までは手が回らなかった。

### 9 国や地方自治体が、広く人権啓発事業を行っていることは知っていたか

① 知っていた	45人
② 知らなかった	8人
無回答	8人



### 10 今回のシンポジウムについてのご意見や今後開催して欲しいテーマなど（自由記入）

引き続き東日本大震災関連の企画、自死（自殺）問題、いじめ問題。

福岡での開催に感謝します。参加者が少なかったのが残念ですが、人権チャンネルで報じるという手法をとっておられることに流石だと思いました。人権チャンネルのPRも積極的に行ってください。私たち自治体も協力したいと思います。

東北震災は忘れ去られてしまう、行政がやっているから自分は何もしないでよいと思う人々が増えていると思われまます。行政も人が足りない、行政に頼らないNPOなり民間の粘り強い取り組みが必要である。

この夏休み大槌町にボランティアに行きました。お名前は忘れてしまいましたが、キュウリ畑を作ってきました。本日、大槌町の方が来られるということで足を運びました。『棺音』のシーンに出てくる町の風景、ほとんどが見覚えがある風景でした。是非、また行きたいと思っています。実際に大槌町を訪れた者の一人が、この会場にいたことを是非、大久保監督に伝えていただきたいと思っています。

いろいろな方面の意見が聞けて勉強になった。自分に何ができるか・・・考えます。

事前の備えやネットワークの整備が大切と感じました。

※主な回答を抜粋



## 福岡会場 広報内容

### 広報実績

No.	事 項	実施内容
1	新聞広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>西日本新聞、読売新聞、毎日新聞に新聞広告（半5段）を掲載。掲載日は、平成24年10月20日。</li> <li>※新聞広告の掲載内容等については、235ページ参照</li> </ul>
2	広報用チラシの配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報用チラシを関係機関等に配布、掲出を依頼。</li> <li>福岡法務局（1,000部）</li> <li>全国の法務局・地方法務局（980部）※福岡法務局を除く</li> <li>福岡県（800部）</li> <li>福岡市（300部）</li> <li>北九州市（300部）</li> <li>福岡県内市町村（580部）※福岡市、北九州市を除く</li> <li>後援団体（720部）</li> <li>福岡県内経済団体（40部）</li> <li>その他、全国の自治体などに配布。</li> <li>※チラシ印刷部数：9,500部</li> </ul>
3	イベント情報サイトへの 広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット上のイベント情報サイトに広報記事を投稿、掲載。福岡県NPO・ボランティアセンター、全国イベントガイド、など計21サイトに掲載。</li> </ul>
4	メールマガジンの配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>本シンポジウムの開催を案内するメールマガジンを計2回配信。</li> </ul>
5	人権ライブラリーホーム ページへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権ライブラリーホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。</li> </ul>
6	人権センターホームペー ジへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権センターホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。</li> </ul>
7	各種ボランティア団体等 への案内メール配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災関係を中心とした各種ボランティア団体等に対して、案内メールを配信。配信先は約700件。</li> </ul>

新聞広告

人権シンポジウム in 福岡

# 震災と人権

**私たちにできること**

東日本大震災の復興支援で活躍するさまざまな分野の方々による基調報告及びパネルディスカッションを通して、私たち一人一人に何かができるのかを改めて考え、継続的な支援へつなげることを目的に開催いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

**入場無料**



日時 平成24年 **11月3日(土・祝)**  
13:20~17:20 (開場 12:30)

会場 **都久志会館・BF・ホール**  
〒810-8583 福岡市中央区天神4-8-10 TEL 092-741-3335

定員 600名(事前申込制・先着順)  
申込方法 郵便/FAX/Eメール  
主催 法務省/全国人権擁護委員連合会  
福岡法務局/福岡県人権擁護委員連合会  
公益財団法人人権教育啓発推進センター  
後援 福岡県/福岡市/北九州市 ほか

**映画上映+トークショー**

『植音』 監督:大久保倫伊(岩手県大槌町出身)  
震災前後の大槌町の貴重な映像を編み込んでつづったドキュメンタリー映画です。  
上映後、監督に、この映画への思いを語っていただきます。

**シンポジウム**  
【パネリスト】  
浅見 健一 震災復興支援グループ「きぼう」代表  
仙台市高砂市民センター 前館長  
北原 啓司 弘前大学教育学部教授・副学部長  
教育養成学研究所センター長  
砂子 啓子 i-くさのねプロジェクト代表  
森松 長生 NPO法人北九州ホームレス支援機構常務理事  
共生地域創造財団理事、絆プロジェクト北九州事務局長

【コーディネーター】  
横田 洋三 公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長

**資料展示**

- ・世界からのメッセージポスター「大震災から未来へ」
- ・人権啓発パネル
- ・被災地の子どもたちが作った紙芝居&メッセージ
- ・全国の地方公共団体等が作成した人権啓発資料 ほか


**【アクセス】**

**バス**

- ・JR博多駅交通センターよりバス約20分
- ・バス停天神郵便局前下車徒歩約3分
- ・西鉄福岡駅バスセンターより徒歩約10分

**電車**

- ・地下鉄天神駅(12番出口)から徒歩約8分
- ・西鉄福岡駅から徒歩約10分



公益財団法人人権教育啓発推進センター 「人権シンポジウム in 福岡」事務局  
〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX 芝大門ビル4F  
TEL03-5777-1802(代表)/FAX03-5777-1803/Eメール event2012@jinken.or.jp  
ホームページ <http://www.jinken.or.jp> **人権シンポジウム 福岡** 検索

西日本新聞 都市福岡版 部数：381,514部  
読売新聞 福岡版 部数：140,899部  
毎日新聞 福岡版 部数：93,504部  
平成24年10月20日 朝刊掲載

## 福岡会場 実施内容の周知

### YouTube人権チャンネル



(右) 大久保愉伊さん  
(左) コーディネーターを  
務めた横田洋三さん



浅見健一さんの基調報告



砂子啓子さんの基調報告



北原啓司さんの基調報告



森松長生さんの基調報告

人権シンポジウム in 福岡の様子は、YouTube人権チャンネルにおいて、動画を配信した。  
<http://www.youtube.com/jinkenchannel>